

## 看護学研究科 博士前期課程 のディプロマ・ポリシー

看護学研究科は、広い視野に立って専門分野の学識を深め、科学的な思考力、高度な研究能力を養い、社会において指導的な役割を果たすことができる優れた看護学研究者、看護学教育者を育成するとともに、高度な専門性、実践能力を有し、社会に貢献する看護専門職を育成することを教育目的としています。

博士前期課程	〈研究コース〉	〈CNS・認定看護管理・高度実践コース〉
①専門的知識・能力、研究分野以外の幅広い知識、国際性	学際的・国際的視野に立って看護学に関する高度な専門的知識をもち、それを活用して研究者、教育者、高度看護実践者として社会に貢献できる能力を修得している。	学際的・国際的視野に立って看護学に関する高度な専門的知識をもち、それを活用して研究者、教育者、高度看護実践者として社会に貢献できる能力を修得している。
②研究課題を発見し設定する力、仮説を立て研究方法等を構築する力	社会のニーズに基づき、国内外の先行研究より研究課題を明確にし、科学的な思考による独創的な学術研究に取り組むことができる看護研究能力を修得している。	社会の変化、対象のニーズに合ったケアを提供するために、多様な健康課題を見出し、エビデンスに基づいてその課題に取り組む能力を修得している。
③他人を納得させることができるコミュニケーション能力や情報発信力	研究内容を論理的にプレゼンテーションできる能力を修得している。	ケア対象者の個人および家族または地域に対して、生活の質を向上するための相談、教育を行う能力を有する。 ケアの改善、質の高い医療を提供するための同職種・他職種との調整能力およびリーダーシップを修得している。
④倫理観	臨床に根ざした看護倫理、研究者としての高い倫理観を修得している。	高い倫理観を持ち、ケアに関わる倫理的な問題の調整および解決に取り組む能力を修得している。
⑤看護実践力	各看護学分野における高度な専門知識と研究成果を質の高い看護実践と教育に活用できる能力を修得している。	各看護学分野における高度な専門知識に基づいた卓越したケアを提供するとともに、他の看護職者と協働して専門領域の看護ケアの質の向上を図る能力を修得している。